

文教厚生委員会記録

令和7年12月1日（月）
12時29分～14時01分
全員協議会室

【委員】足立委員長、遠藤副委員長、
岡山委員、花田委員、森谷委員、串崎委員、芦谷委員

【執行部】

〔健康福祉部〕久保健康福祉部長、中谷地域福祉課長

〔市民生活部〕井上市民生活部長、小松環境課長

〔教育部〕草刈教育部長、藤井教育総務課長

〔上下水道部〕佐々木上下水道部長、右田水道管理課長

【事務局】久保田書記

【議題】

1 所管事務調査事項について

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 認知高齢者の状況推移について(2) 保育所（園）の公費負担について(3) 市税、法人市民税の推移について(4) 給食センターの現況について(5) スクールバスの運行状況について(6) 不登校児について(7) サン・ビレッジ浜田アイススケート場の利用用途変更に係る確認について(8) 下水道の現況について |
|--|

2 12月10日（水）の委員会審査日程等について

3 その他

4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応について（委員間で協議）

5 取組課題について（委員間で協議）

12月10日(水)10時開催の文教厚生委員会における予定議題

1 請願審査

- (1) 請願第19号 公共施設のバリアフリー化推進を求める請願について
- (2) 請願第20号 診療報酬引き上げと地域医療の維持を求める意見書の提出について
- (3) 請願第21号 高齢者向け100円タクシー制度の恒常化を求める請願について
- (4) 請願第22号 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センターの医師確保対策強化を求める請願について
- (5) 請願第23号 小児救急医療体制の強化を求める請願について
- (6) 請願第24号 地域包括ケアの支援体制見直しを求める請願について
- (7) 請願第25号 子育て支援の充実の請願について
- (8) 請願第26号 子育て支援の公平性確保を求める請願について
- (9) 請願第27号 高齢者・要支援世帯へのごみ出し支援制度を求める請願について
- (10) 請願第28号 三隅火力発電所の環境影響調査を求める請願について
- (11) 請願第29号 市における動物愛護施策の強化を求める請願について
- (12) 請願第30号 マイナンバーカード関連業務の改善を求める請願について
- (13) 請願第31号 市民相談窓口のワンストップ化を求める請願について
- (14) 請願第32号 市税滞納整理と相談体制の改善を求める請願について
- (15) 請願第33号 教育委員の皆様への文書について、確実に到達されるよう求める請願について
- (16) 請願第34号 学校給食費負担軽減の検討強化を求める請願について
- (17) 請願第35号 学校給食における地産地消の促進を求める請願について
- (18) 請願第36号 教育委員会の会議公開範囲拡大を求める請願について
- (19) 請願第37号 市立図書館の蔵書充実と利便性向上を求める請願について
- (20) 請願第38号 不登校支援及び授業動画配信体制の導入を求める請願について
- (21) 請願第39号 中学校部活動の地域移行を慎重に進めることを求める請願について
- (22) 請願第40号 学校トイレの洋式化及び衛生環境改善を求める請願について
- (23) 請願第41号 通学路の安全対策強化を求める請願について
- (24) 請願第42号 ICT教育の充実を求める請願について
- (25) 請願第43号 行政判断に用いられる資料の内容・数字の根拠の丁寧な確認をお願いする請願について
- (26) 請願第44号 教育委員会の公益通報対応改善を求める請願について
- (27) 請願第45号 裁判係属中を理由とした説明拒否の改善を求める請願について
- (28) 請願第46号 旧スケート場の用途変更に関する再評価を求める請願について
- (29) 請願第47号 スケート場跡地活用における市民意見募集の強化を求める請願について
- (30) 請願第48号 市立体育施設の利用環境改善を求める請願について

12月10日(水)10時開催の文教厚生委員会における予定議題

- (31) 請願第49号 いじめ防止及び人権教育の強化を求める請願について
- (32) 請願第50号 工業用水道会計に関する中国電力との合意書の調査を求める請願について
- (33) 請願第51号 工業用水道会計における利益剰余金の根拠調査を求める請願について
- (34) 請願第52号 工業用水道会計の再監査を求める請願について
- (35) 請願第53号 工業用水道会計の情報開示強化を求める請願について

2 陳情審査

- (1) 陳情第1号 災害時における避難場所(小中学校の体育館)へのエアコン設置の陳情について

- (2) 陳情第2号 図書館司書の正規職員化の陳情について

- 3 議案第75号 浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第78号 浜田市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第81号 浜田市益井俊雄奨学基金条例の制定について
- 6 議案第82号 浜田市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について
- 7 議案第83号 浜田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例について
- 8 議案第84号 浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 9 議案第89号 指定管理者の指定について(浜田市あさひやすらぎの家)
- 10 執行部報告事項
- 11 所管事務調査
- 12 その他
 - ・【要望書】令和8年度税制改正に関する提言について(委員会に配付)
- 13 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について(委員間で協議)
- 14 取組課題について(委員間で協議)

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

〔 12 時 29 分 開議 〕

○足立委員長

ただいまから文教厚生委員会を開会する。ただいまの出席委員は7名で、定足数に達している。初めに、委員及び執行部にお願いする。本日の会議の音声は、この部屋の中央にあるマイクで録音しているので、発言の際はマイクに向かってはっきりと話してほしい。それでは、レジュメに従って進める。

1 所管事務調査事項について

○足立委員長

12月10日水曜日に開催する当委員会における所管事務調査事項として、委員から、執行部に説明を求めたい事項があれば申し出てほしい。なお、委員会としての要求になる。委員会として調査が必要と考える事項とその目的を明確に述べていただきたいと思う。事前にメールで調査してほしい案件が来ている。皆に諮りたいと思う。

1点目は、保育園の公費負担について、年齢区分ごとの1人当たりの公費負担額、ゼロ歳児から2歳児、3歳児から5歳児、それに対する国、県、市の負担割合と、それに関連する浜田市全体の総事業費と財源内訳をお願いしたい。執行部に伺うが、ゼロ歳児から5歳児までの保育園の入所に掛かっている1人当たりの総額と、国、県、市の負担割合について、現行行っている部分の資料は可能か。

○健康福祉部長

少々大まかな部分も出てくるが可能である。

○足立委員長

可能であれば、5年間の推移でお願いしたい。ほかの部分については確認させてほしい。できる範囲でよろしくをお願いする。皆に諮るが、この案件を文教厚生委員会の所管事務調査としてお願いしたいが異議はないか。

（ 「異議なし」という声あり ）

それではそのようにさせてもらう。2点目について、現在のスクールバスの運行の実態について、教育委員会の分かる範囲で、路線と利用状況、運行体制をお願いする。スクールバスを地域の高校生が利用する場合の課題や、現実的に可能なのか否かを教えてほしい。また、旭、弥栄、金城など周辺地域から、公共交通拠点までの高校生の移動実態を把握しておられる範囲で教えてほしい。支援ニーズがあるか否かについてもお願いする。三隅はひゃこるバスが走っていて、高校生が乗車できると思う。人数をもし把握されているのであれば教えてほしい。主要拠点というのは、浜田駅まで学校に間に合うバスが動いているかといった意味合いでよろしいか。

○森谷委員

そのような感じである。

○足立委員長

旧那賀郡に住んでいる高校生の生活負担軽減という観点からも、実態を知ることが重要であると思われるので、調査をお願いします。教育委員会で分かる範囲でお願いしたい。県にも確認し、できる限り実数に合わせた数字を示してほしい。

○教育部長

高校等に確認する必要があると思う。時間がかかるかもしれないが、その辺りは事務局と調整させていただく。

○足立委員長

当市の下水道の現状について、区域ごとの現在の維持管理費、例えば電気代や修繕費、人口減少時における下水道採算性の試算表を、持っていれば、20年、30年という長いスパンで示してほしい。中継ポンプの位置図もしくは予定配置図と、維持管理費の一覧をお願いします。配置図は、農業集落排水も含め膨大な量になる。配置図はやめて、場所と数字の一覧をお願いします。合併処理浄化槽補助の実績を5年間の推移でほしい。出雲市が下水道から合併処理浄化槽へ方針を転換されると聞いているが、その理由について、連絡協議会のようなものの中で話があり、情報を持っていれば教えてほしい。

○上下水道部長

連絡協議会のようなものはないが、聞くことができれば報告する。

○足立委員長

理由を聞いてほしい。もらった数字を基に、委員から質疑をさせてもらいたいと思う。この部分を資料請求させてほしいと思うが、異議はないか。

(「はい」という声あり)

次に、現在5か所の給食センターがあると思うが、現状の調理能力、運営コストなど基礎データを一覧表として示してほしい。経費については5年間分もらえると有り難い。

○教育部長

調理能力と実数、どちらが良いか。

○足立委員長

質問の目的は、今後の集約の可能性も視野に入れ、委員会としての課題として取り上げ、その効果を考えるための現状把握である。実数でお願いできるか。

○草刈教育部長

承知した。施設の概要と併せて示す。

○足立委員長

給食センターの確認について、よろしいか。

(「はい」という声あり)

当市の認知症の状況推移について、5年間分の認知症の人数を可能な限り年齢層別、種類別に分けて提出してほしい。

○健康福祉部長

承知した。

○足立委員長

下水道の件で言い忘れたが、接続率と負担金額についても一覧表の中に加えてほしい。分担金について、接続ごとに累計額が上がっていくと思うので、5年間の地区別の累計を数字として教えてほしい。

○上下水道部長

承知した。

○足立委員長

税について、以前、地方交付税や市内の事業者数、所得金額などが記載された一覧表があったと思うが、最近見ないので提供してほしい。5年間分の市内の事業者数の推移、新規・廃業の事業者数などは法人市民税で把握されているはずなので、願する。また、市民の実態を正しく把握する必要があるので、5年間分の公的年金収入と収入階層別の推移、市税の滞納額と徴収率、不納欠損について願する。

○市民生活部長

確認する。

○足立委員長

ほかにあるか。

○森谷委員

スケート場の利用方法変更に関して事実確認を願する。

○足立委員長

事実確認とは、どのような数字を求められるか。

○森谷委員

数字とは限らない。以前、適正数ゼロということで結論が出た後に、適正数が正しかったという比較表が作成された。適正数ゼロの根拠と市の根拠、その後審議会が開かれなかった経緯について、はっきりと知りたいと思う。市民団体からの代替案は門前払いされた一方で、コンサルタントとのやり取りは情報開示請求をしても黒塗りで出てこない。流れの不明確な部分をはっきりさせてほしい。

○足立委員長

教育委員会に求められるのは、適正数ゼロの根拠資料と後に示された適正数1の根拠資料の比較表と思う。担当課で提出可能かと思うが、コンサルタントとのやり取りは、質疑の中で願したい。まず、比較表を明確に出してもらおうということではないか。判断材料の一つになると思うので要求したいと思うが、異議はないか。

(「異議なし」という声あり)

○森谷委員

最後に、不登校児について、約半数に対応しているとのことであるが、残りの半分について不明確な状態である。現状、教育委員会の不登校児が、年間どこをどれくらい利用していて、ずっと家にいる児童生徒が何人くらいいるのかといった分類表を5年間の推移で願したい。また、授業をライブ配信しているとのことであるが、子どもの状況によってアーカイブなども含め、どのように授業を提供しているのかも

併せて教えていただきたい。

○足立委員長

どこにも通っていない児童生徒の内訳について、5年間の推移で資料を要求するということでよいか。

(「はい」という声あり)

以上、所管事務調査事項とするが、良いか。

(「はい」という声あり)

それでは、議題1を終わる。

2 12月10日（水）の委員会審査日程等について

○足立委員長

次回12月10日水曜日の文教厚生委員会で予定している議題は、レジュメの囲み部分である。議題の順番は請願者・陳情者へ配慮し、これまで同様に委員会冒頭に請願・陳情の審査、採決を行い、その後議案審査とするので、承知を願う。

予定議題1は請願審査である。請願第19号から第53号まで、まず審査を行い、その後採決を行う。12月10日の委員会当日、紹介議員の出席を求めるか。

○遠藤副委員長

求めなくてもよい。

○森谷委員

紹介議員の自己請願以外に、請願第20号と請願第25号があるが、これらも含めて紹介議員の出席は求めないのか。

○岡山委員

文面で理解ができれば良いのではないかと思う。

○足立委員長

皆も文面を読んで理解できたので、呼ばなくても良いという意見のようである。

○遠藤副委員長

どうしても本人から説明を聞きたいというのであれば別であるが、本人が出席したいと言われれば来るだろうし、それ以上に「来てください」と言う必要はないのではないかと思う。

○森谷委員

紹介議員はあくまで当事者ではないので、私は当事者にこそ、言いたいことがあるのではないかと考えている。

○足立委員長

請願者本人ということか。

○森谷委員

はい。

○足立委員長

それでは、紹介議員に関しては出席を求めないということによろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ここで、請願第19号から第53号までについて、委員会として参考人招致の必要があるかどうかを諮る。

○森谷委員

参考人招致という形ではなく、本人が話したいことがあるなら来て話せる機会を設ければ良いと思う。

○遠藤副委員長

委員会として参考人招致をするかしないかを決める場である。参考人招致となると強い言葉であり責任も発生する。請願者本人が来たいと言うのであれば、来てもらえるような仕組みはあると思うので、ここで決めるのは、委員会として招致するかどうかである。

○足立委員長

参考人招致はしないという前提で、本人が来て休憩中に自由に発言することに関しては、委員会として妨げるものではない。今回は参考人招致はなしということで良いか。

○森谷委員

招致はしないが、本人が望むなら話せる機会があることは、どうやって決めるのか。

○足立委員長

必要であれば、事務局から請願者本人に連絡をし、委員会当日に来れば休憩中に発言の機会がある旨を伝えるという形で進めたいと思うが、いかがか。

○森谷委員

浜田市議会として素晴らしい提案だと思う。

○足立委員長

それでは、委員から確認を求める事項について、10日の当日はよろしくお願いする。

予定議題2は陳情審査である。陳情第1号から第2号まで、まず審査を行い、その後採決を行う。ここで陳情第1号から第2号までについて、委員会として参考人招致の必要があるかどうかを諮るが、いかがか。

○森谷委員

先ほどと同様に、話したい人にはチャンスがあるという形にしてほしいと思う。

○足立委員長

委員会としては、参考人招致はしないという方向で良いか。

(「はい」という声あり)

続いて、審査の参考のため、これらの陳情について、12月10日の委員会当日に執行部へ確認したいことはあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、委員会から確認を求める事項について、10日の当日、よろしくお願い

する。委員会での請願・陳情の審査においては、審査基準に基づいて各委員が判断することになる。審査基準はタブレットへ配信されているので、一読をお願いします。判断基準は統一するが、採択・不採択等は各委員で趣旨をしっかりと踏まえた上で判断し、反対の場合はその理由を明確にしてほしい。委員会で採択とした請願、陳情については、所管事務調査も含め、当日の委員会で対応を検討することになるので、よろしくお願いします。

次に、予定議案3から9の付託議案の審査を行う。7件の市長提出議案について審査を行う。その後、予定議題10の執行部からの報告事項、今のところ5件と聞いている。執行部から提出に至った背景やポイント等を説明してもらい、その後、質疑を行う。続いて、予定議題11の所管事務調査を行う。そして、予定議題12のその他、予定議題13のぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について、予定議題14の取組課題について委員間で協議する。所管事務調査事項であるが、執行部においては、先ほどの8件について、資料と当日の説明をお願いします。

以上が12月10日の審査当日の予定議題である。委員や執行部から質問はないか。

○森谷委員

請願第33号と第43号について、本人が来た場合、発言できるようにしてほしい。

○足立委員長

先ほどのルールに則り、本人に来てもらえば、休憩中に発言の機会を設けるということで調整できるが、当日の進行上、どのタイミングの休憩になるかは分かりかねるので、その旨を伝えてほしい。

ほかに質問はあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○足立委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から執行部に何かあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、ここで執行部は退席して良い。

(執行部退席)

暫時休憩する。

[12 時 06 分 休憩]

[12 時 07 分 再開]

○足立委員長

委員会を再開する。

4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応について

○足立委員長

ぎかいポストに寄せられた意見等について、議会広報広聴委員会委員長から回答を作成するよう依頼があった。意見としては、「風車を弥栄の近くに建てないでください。」である。議会広報広聴委員会への回答の提出期限が12月12日となっている。本日はこの意見に対してどのように回答するか、皆で協議をしたいと思う。

○森谷委員

これだけでは理由が分からないので、理由を教えてほしいと返してはどうか。

○串崎委員

弥栄には既に多くの風車が整備されており、住民の意見を十分尊重して対応してほしいというくらいで良いのではないか。

○森谷委員

弥栄の住民かどうか分からない。

○花田委員

どこのぎかいポストに入っていたものか分かるか。

○久保田書記

弥栄の杵束まちづくりセンターに設置されたものである。

○串崎委員

道路の問題、河川の問題、生態系の問題、騒音、景観など、様々な被害が出ている。これ以上は整備してほしいという住民の意見が多い。中には賛成の方もいるかもしれないが、弥栄ではそのような意見が多いと感じている。

○森谷委員

金をもらえれば賛成する人もいるのではないか。

○串崎委員

金は何も出ていない。

○足立委員長

風車を整備している主体は合同会社インベストメントである。

○岡山委員

串崎委員が言われたように、現状、弥栄の方が感じていることを書いた上で、文教厚生委員会としての回答を付け加えるのが良いと思う。

○遠藤副委員長

これ以上なのか、そもそも風車が要らないのか、この文面だけでは分からない。

○串崎委員

既に整備されているので、次から次へと整備されることを阻止したいという思いが強いと思われる。

○花田委員

建設に当たっては住民説明会等あったのか。

○串崎委員

住民説明会もあったが、当時は、よく分からないまま反対しなかったという経緯がある。

○足立委員長

ただいま皆からもらった意見を網羅する形で、正副委員長で文案を作成し、皆へ示したいと思うが、それで良いか。

(「はい」という声あり)

それでは、次回12月10日の委員会で皆に示す。

5 取組課題について

○足立委員長

皆から提出していただいたものの一覧を配信した。まずは、提案された内容について説明をお願いします。本日は説明を聞くことにとどめ、次回改めて議論したいと思う。

それでは、私から説明する。テーマは、権利擁護の確立である。高齢者、障がい者、低所得者の方々の権利が複雑化する社会の中で脅かされている状況があり、これを法整備の中で確立していくことが必要である。2016年の成年後見制度利用促進法に基づき各市町に中核機関の設置が求められたが、当市ではいまだに設置されていない。高齢化率38%を超える本市において、早期の設置が必要と考え提案した。

○遠藤副委員長

テーマは、島根県立大学に協力を得てこどもたちの居場所をつくるである。県立大学の学生に、単位の一環として、市内の小中学生に勉強を教えてもらう場をつくるという提案である。学力に遅れのある子どもたちへの支援、また大学生と子どもたちの交流の機会創出を目的としている。島根県立大学や学長にも話をしており、興味を示してもらっている。

○岡山委員

3点提案する。1点目は、高校生の通学方法の実態についてである。公共交通機関の便が少なく、市内進学を阻害している現状がある。既存の交通システムを組み合わせても通学が困難な実態を調査し、子どもたちが行きたい学校に行けるような支援策を検討したい。2点目は、オンライン診療の実態についてである。免許返納者の増加や医療機関の減少を考えると、オンライン診療は、今後の選択肢として重要になると考える。医療と交通の両方に関わる問題として取り組みたい。3点目は、学生の自習スペースの実態についてである。テスト期間になると図書館などが満席になり、あふれてしまう生徒がいる。現状で良いのか、他の施設の活用や学校に居残れる方法など解決策を検討したい。

○花田委員

テーマは、子どもの権利に関する事柄についてである。子どもの権利条例を制定する流れの中で、こども基本法からこども計画へと進んでいるが、条例をしっかり押さえ、子どもたちの意見を市政に反映させる形にしていきたいと考えている。そのため、この委員会で考えていければと思う。

○串崎委員

テーマは、介護人材確保についてである。高齢化の進行により介護人材不足が深刻化している。ICTや介護ロボットの活用、外国人材の登用、退職者の再雇用、元気な高齢者の活用など、様々な方策を調査研究するとともに、処遇改善についても検討が必要であるとする。

○芦谷委員

テーマは、市民の健康づくり施策の方向性、事業の在り方などについてとコミュニティ・スクールの推進である。健康課題については、現状の調査分析を行い、施策の方向性を提案したい。コミュニティ・スクールについては、学校と地域、家庭との連携の在り方をしっかりと構築するため、その方向性や支援について研究したい。いずれも現状調査にとどまらず、最終的には委員会として施策提案をすることを目指したい。

○足立委員長

以上、九つのテーマが挙げられた。本日は説明を聞いたので、これを基に、次回テーマを絞り込むか、どのように進めるかを協議したいと思う。

○芦谷委員

所管事務調査の項目が多すぎると委員会の運営が難しくなるので、着地点を見据えてテーマを絞るべきであると思う。

○足立委員長

その点も含めて皆で考えていこう。2年間で提言書を作成するのか、市長に提言するのかなど、最終的な到達点も見据えて検討する必要があるので、考えをまとめておいてほしい。

次に移る。その他、委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

議会だより第80号の委員会レポートの原稿作成についてである。今回は私が担当したいと思う。次回以降は皆で分担してもらうので、よろしくお願いします。

最後に次回の日程を確認する。次回は12月10日の水曜日10時から全員協議会室で開催する。

ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、以上で文教厚生委員会を終了する。

[14 時 01 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

文教厚生委員会委員長 足 立 豪